

平成 29 年度 北信圏域大規模氾濫減災協議会 議事録(要旨)

◆議事

○北信圏域大規模氾濫減災協議会の設立について(建設部河川課)

- ・県管理河川について、水防災意識社会を再構築するため、河川管理者・市町村などからなる大規模氾濫減災協議会を 10 圏域で設立。現状の水害リスク情報や取組情報の共有を図る。
- ・危機管理型水位計の設置について、H29 補正予算を活用し推進する。協議会での取組方針に基づき設置を行う方針もあり。県内で 300 箇所を予定。
- ・想定最大規模降雨の浸水想定区域図について、千曲川(県管理区間)は H29HP 公表済み。

※質疑応答なし

○本協議会の設立趣旨と規約(案)について(北信建)

- ・事務局より説明。

※質疑応答なし

審議の結果、規約は成立した。

○取組方針(案)について(北信建)

- ・事務局より、減災対策の取組状況と課題を説明、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す到達すべき目標とし、目標達成に向けた取組方針(案)について説明。

※質疑応答なし

審議の結果、目標と取組方針は決定した。

○今後の予定について(北信建)

- ・策定された取組方針について、今年度中に HP にて公表する。
- ・取組方針に係る進捗状況や市町村の取組などをフォローアップしていく。

◆各機関からの情報提供

○水害に係る防災気象情報(長野地方気象台)

- ・土砂災害の「危険度分布」に加え、H29.7から大雨や洪水時の災害発生危険度を予想した「危険度分布」を HP で公表開始した。地図上で危険度を色分けすることで、視覚的に避難の判断ができるようになった。